

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成24年度 第2回医学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年6月21日（木）13：30～15：30

場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者：内山委員長、福島委員、吉岡委員、高松委員、渡辺委員（ネット出席）

（事務局 井端、森下、平田）

III. 検討事項

今回は医学教育における教育改善モデルを実現するための教育力のうち医学教員に期待される学識について以下のとおり検討した。

まず、事務局より次のように説明を行った。医学分野での3つのモデルをより説得力のあるものとするため、教育の改善以外に教員自身の努力についてどのように行っていくべきかについても検討することにしており、医学分野の教員の教育力として、「医学教員に期待される学識」と「教育改善モデル実現に求められる教育力」の2つについて文章化することとしている。医学教員に期待される学識については、一般に医学教員に求められる教育力と位置づける。

そこで、他分野でまとめた教育力を参考にしながら、医学教員に期待される学識について検討した。

1. 医学教員に期待される学識※について

（※のちに「学識」から「専門性」に全委員会で統一）

医学分野では、世界のどこでも活躍できるグローバルかつ多様性があること、ベーシックサイエンスと人に寄り添う両面の能力が求められること、さらに医学の教員にはカリキュラムマネージャーと各授業の担当教員とがいるため、今回の教育力では学生に接している授業担当教員を対象とすることを確認した。

また、自分の知識を様々な患者に応じ適用していくこと、授業科目の垣根を越えて一人の学生を教員の協働によって育成していくこと、教員が一人の医師としてモデルとなり学生を育成していくことが医学分野の特徴としてあげられ、これらを盛り込んで以下のように学識としてまとめた。

【1】医学教員に期待される学識（専門性）

- ① 豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、人の命と健康を守る医師を育てることに強い使命感を有していること。
- ② 医学の専門知識を一人ひとりに適用することの価値を認識していること。
- ③ 協働してスクールミッションを果たす意思を有していること。
- ④ 医療と医学教育のニーズが世界および地域で時代とともに変化していることを認識していること。
- ⑤ 学生のロールモデルとなることを認識し、学生の主体的な成長を支えられること。
- ⑥ ICTなどを利用した教育技法を駆使して、参加型の教育を実践できること。

2. 次回委員会

次回は、7月12日（木）13：30より開催し、3つの医学の授業改善モデルを実現するための教育力について検討することを確認した。